

2023年度 お客さま本位の業務運営に関する取組状況

秋田銀行では、「お客さまの思い描く将来の実現を、生涯にわたって支えるライフパートナーになる」という考えのもと、お客さまの資産形成、運用関連業務に関する方針として「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を制定し、実践しております。この取組みを表す指標〔KPI(注)〕と結果については、年度ごとに公表しております。

(注) KPI…「Key Performance Indicator」の略称



	取組方針	主な取組み（概要）
1	お客様の最善の利益の追求	<ul style="list-style-type: none"> • お客様のライフプランに合った最適な商品やサービスの提案 • お客様の幅広いニーズに応えるコンサルティング力の継続的な向上
2	利益相反の適切な管理	<ul style="list-style-type: none"> • お客様のニーズや利益に沿う適切な提案 • 本部による取引モニタリング等を通じた適切な管理
3	手数料等の明確化	<ul style="list-style-type: none"> • 「対面販売」「インターネット販売」毎の投資信託の手数料設定 • ご負担いただく手数料イメージとご提供するサービス
4	重要な情報の分かりやすい提供	<ul style="list-style-type: none"> • 重要情報シート、目論見書、商品概要書および各種レポートを活用した説明 • セミナーやマネー講座等を通じた積極的な情報発信
5	お客様にふさわしいサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> • 投資目的やリスク許容度に応じた幅広い商品ラインナップ • 市場動向やお客様の運用状況を踏まえたタイムリーなフォローアップ • お客様サービスの品質維持・向上のためのモニタリング
6	職員に対する適切な動機づけの態勢	<ul style="list-style-type: none"> • お客様の課題解決に向けた活動を対象とする評価体系 • 職員へ取組方針を定着・浸透させるための教育体制の整備

取組方針と取組みを表す指標【KPI】

取組方針	主な取組み	指標【KPI】
<p>お客様の 最善の利益の追求</p>	<ul style="list-style-type: none"> • お客様本位の運用提案プロセスの実践 • 最適なポートフォリオ提案 • コンサルティング力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ①お客様本位の取組方針の説明回数 P 3 ②ライフコンサルティングツール利用数 P 3 ③ポートフォリオ提案ツール使用率 P 4 ④スキルランク別行員数 P 4 ⑤投資信託保有顧客数・平均保有年数 P 5 ⑥積立投信契約者数・積立投信振替額 P 6 ⑦NISA口座数・iDeCo契約件数 P 7 ⑧投資信託の運用損益別顧客比率（共通KPI） P 8 ⑨外貨建一時払保険の運用評価別顧客比率（共通KPI） P 9
<p>重要な情報の 分かりやすい提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 重要情報シートを用いた説明 • 資産形成をサポートする積極的な情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩重要情報シート使用状況 P 11 ⑪マネー講座セミナー実施数 P 14
<p>お客様に ふさわしいサービスの 提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 適時適切な商品選定 • タイムリーなフォローアップ • 適合性等のモニタリング 	<ul style="list-style-type: none"> ⑫投資性商品の販売上位商品 P 16 ⑬投資信託預り残高上位20銘柄（共通KPI） P 17 ⑭投資信託のリターン実績（コスト・リターン）（共通KPI） P 18 ⑮投資信託のリターン実績（リスク・リターン）（共通KPI） P 19 ⑯外貨建一時払保険のリターン実績（コスト・リターン）（共通KPI） P 20

中長期分散投資を軸としたお客さま本位の運用提案プロセスの取組み

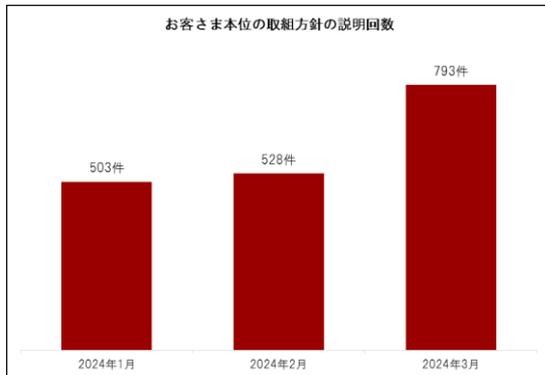
- 秋田銀行では、お客さまの資産状況・取引経験・知識・取引目的を踏まえ、お客さまのライフプランの実現に向けたコンサルティングを行っております。
- お客さま本位の業務運営にもとづいて行うライフコンサルティングサービス内容を分かりやすくまとめた情報提供資料「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を作成し、お客さまとの面談の際に活用しております。
- ライフコンサルティングツール等を用いて、お客さまがライフプランにおいてどのような目標（ゴール）をお持ちであるか丁寧にお伺いしながら、ライフプラン実現に向けた最適な資産形成・運用の支援を行っております。
- お客さまの資産形成にかかる業務を担う担当者が、お客さま本位の運用提案プロセスを実践するための心構えや対応方法をまとめた「リテール営業プロセス」を活用しております。
- 各種研修時に本冊子を用いて内容の確認や読み合わせを行い浸透をはかっております。

運用提案プロセス取組状況

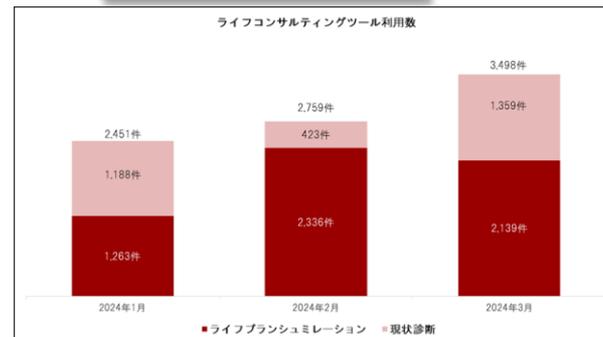
2024年1月より、お客さま本位の業務運営の方針やご提供するライフコンサルティングサービス内容を分かりやすくご理解いただくため、情報提供資料「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を用いてご説明しております。

ご説明させていただいた回数は下表のとおりです。

【お客さま本位の業務運営に関する取組方針】

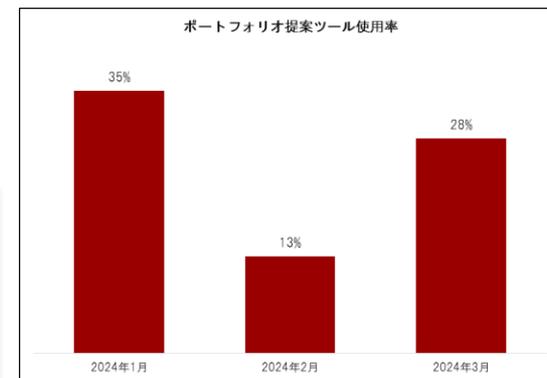
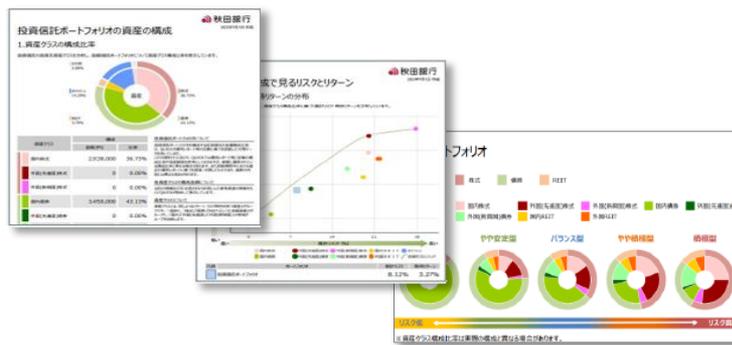


お客さまのライフプラン実現に向けたコンサルティングを行うため、「ライフコンサルティングツール」を活用してライフプランに必要な資金計画に関する情報提供を行っております。（2024年1月より開始）



お客さまの最善の利益の追求を第一に考えたご提案

- お客さまのライフプラン実現に向けてお客さまにふさわしい資産形成・資産運用提案のため、お客さまのリスク許容度に応じた最適なポートフォリオと商品のご提案をしております。
- 商品・サービスご提供後も、お客さまのゴール（目的）に変更がないか確認し、変更があった場合はゴールの再設定やポートフォリオの見直し等を行い、お客さまの最良の未来の実現のための適時適切なサービス・商品のご提供を継続しております。

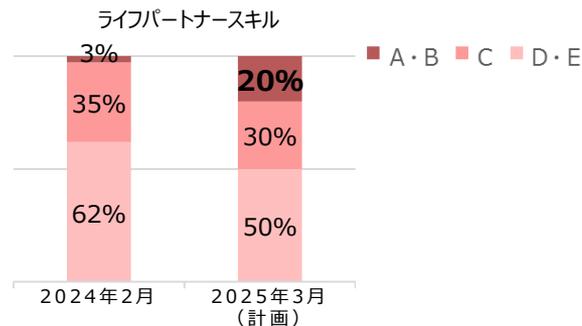


コンサルティング力の向上に向けた研修の実施

- お客さま本位についての考え方およびそれらを踏まえたお客さま対応のあり方を学んだうえで、お客さまの最善の利益を追求する営業活動を行っていくため、各研修においてコンサル力向上に向けた研修を実施しております。
- また、スキルマップで自己チェックを行い、行員一人ひとりが強み・弱みを把握し、自分に合ったスキルレベルの向上をはかっております。

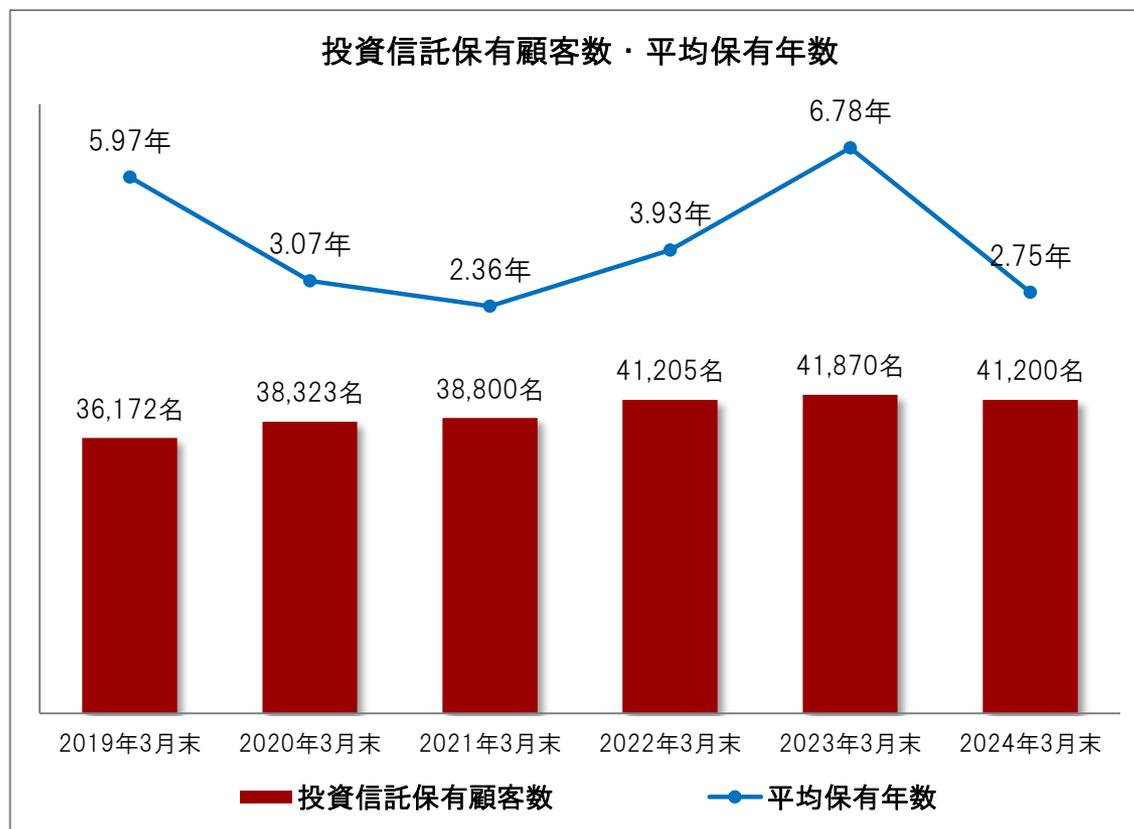
研修、自己学習プログラムの概要

研修	概要
研修	<ul style="list-style-type: none"> • 業務経験や階層に応じた集合研修 • 地区別のミーティング形式の研修 • 商品・テーマに応じたweb研修（運用会社・保険会社）
自己啓発	<ul style="list-style-type: none"> • スキルマップによる対応力向上 • 通信講座・eラーニング



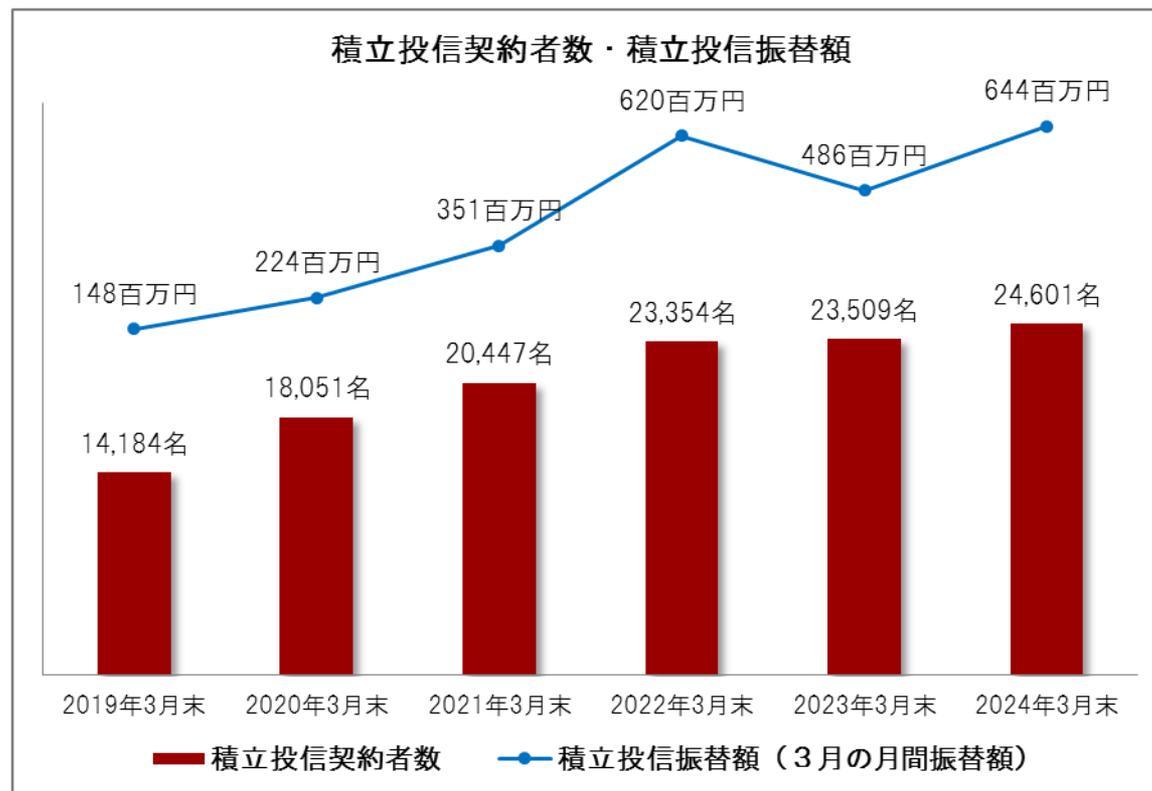
投資信託保有顧客数・平均保有年数

- 国内株式、外国株式の商品を中心にパフォーマンスが向上し利益確定が増加したことにより、投資信託の平均保有年数は短期化しております。



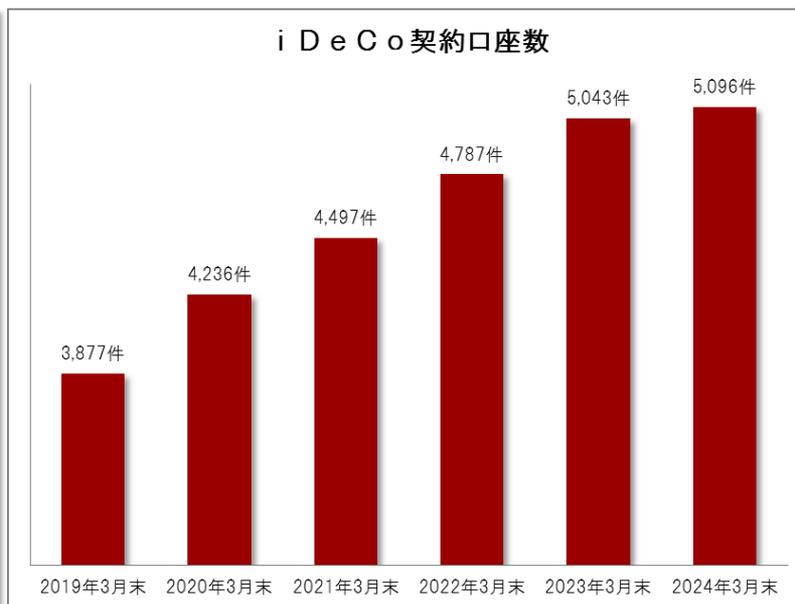
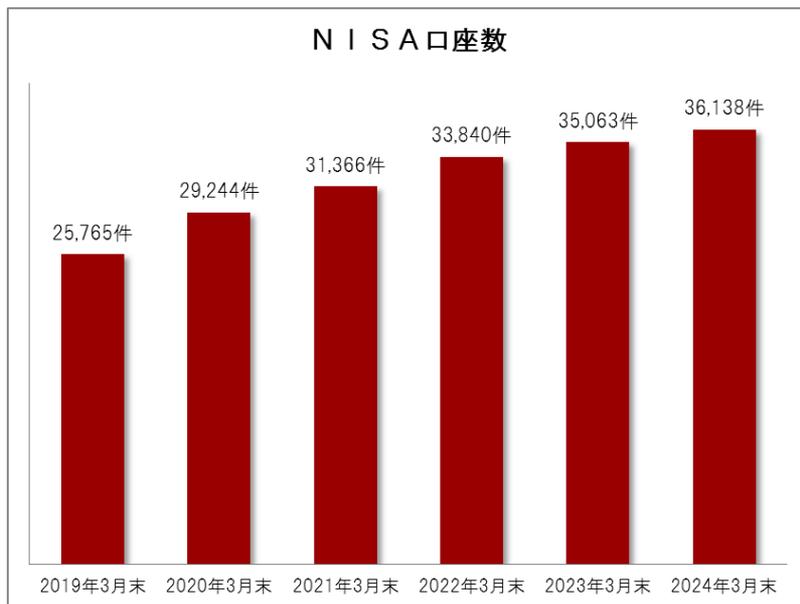
積立投信契約者数・積立投信振替額

- お客様のライフプランを踏まえた中長期的な資産形成を支援し、時間分散・資産分散等による資産形成をご提案しております。
- 積立投信契約者数、積立投信振替額は、NISA制度の改正により、あらたに積立投資を始められるお客様が増えていることから、契約者数・積立投信振替額ともに増加しています。
- 秋田銀行では、非対面でのお取引を希望されるお客様のニーズにもお応えするため、インターネットバンキング取引もご用意しております。



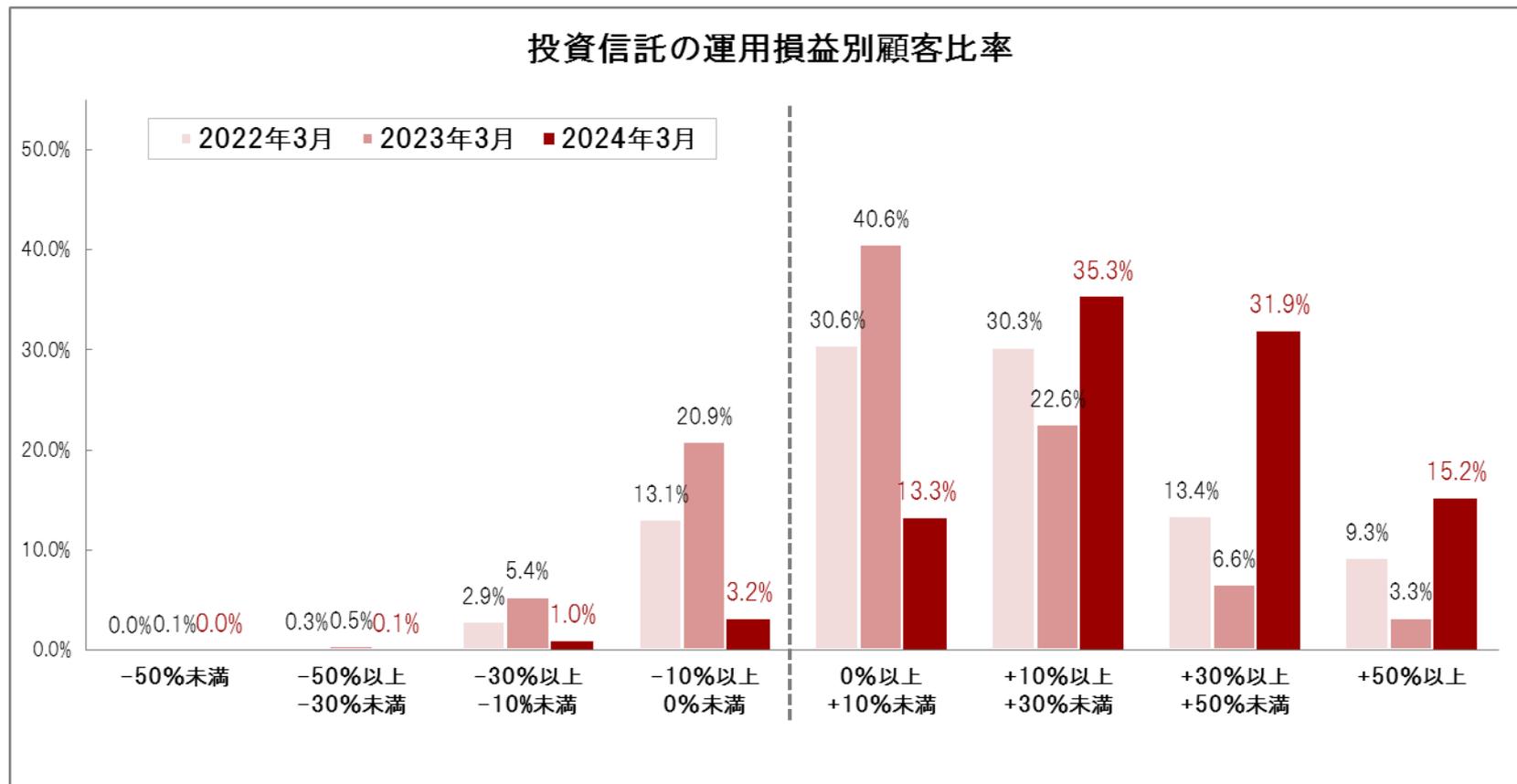
NISA口座数・iDeCo契約口座数

- NISA制度を活用して新たに資産形成・運用を行うお客さまが増えたことから、前年に続きNISA口座数は増加しております。
- 老後のライフプランの実現に向けてiDeCoを活用した資産形成を行うお客さまが増えたことから、iDeCo契約口座数は増加しております。



投資信託の運用損益別顧客比率

- 2024年3月末で投資信託を保有されているお客様のうち、運用損益がプラスのお客様の割合は95.7%と前年比で増加しております。



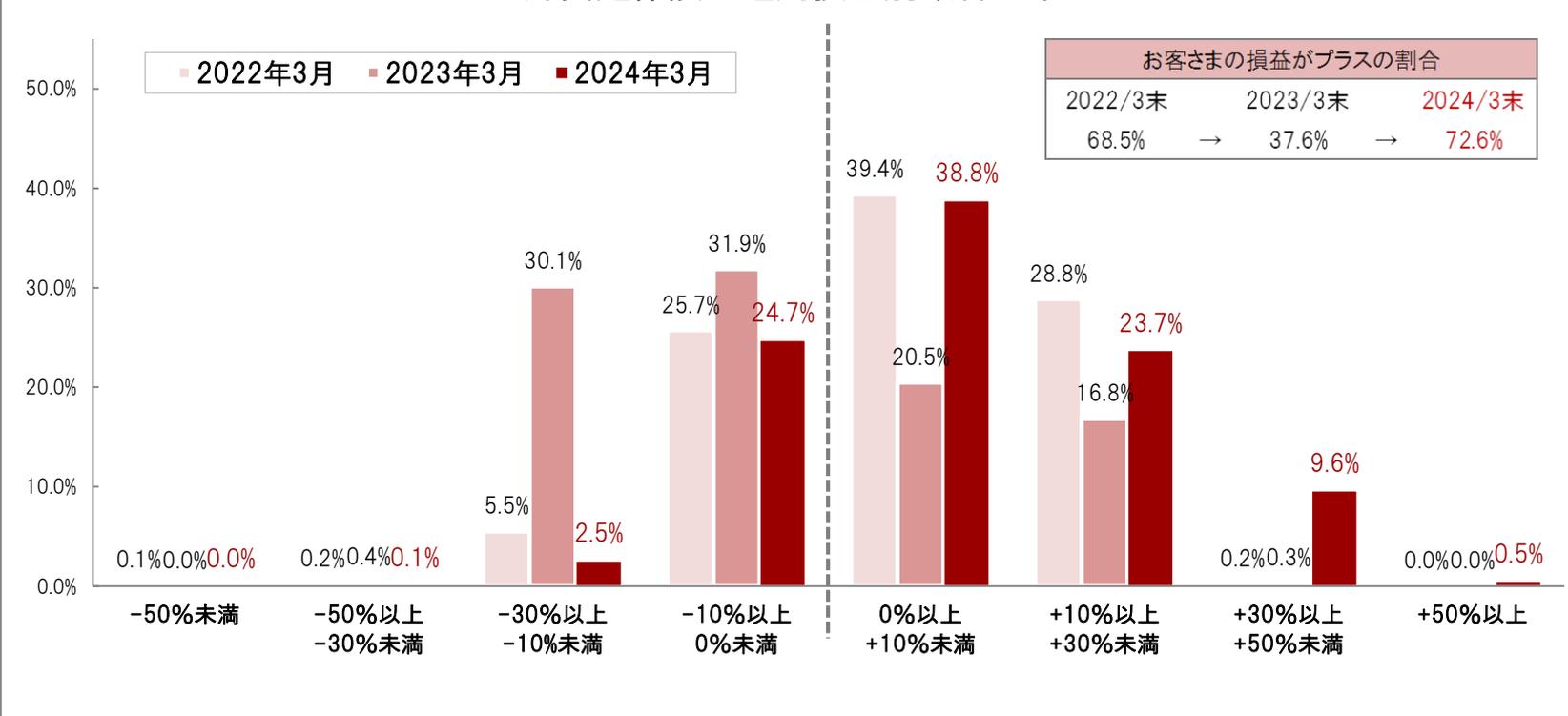
お客様の損益がプラスの割合

2022/3末	2023/3末	2024/3末
83.6%	→ 73.1%	→ 95.7%

外貨建一時払保険の運用評価別顧客比率

- 2024年3月末で外貨建一時払保険を保有されているお客様のうち、為替相場が円安に推移したことを受け、運用損益がプラスのお客様の割合は72.6%となっております。
- 秋田銀行では、一時払保険をご契約のお客様へのフォローアップを定期的を実施しております。
- 外貨建一時払保険をご契約のお客様については、加入目的・商品内容の確認、市場価格調整等の説明や、為替・金利相場等に関する情報提供を行っております。

外貨建保険の運用損益別顧客比率



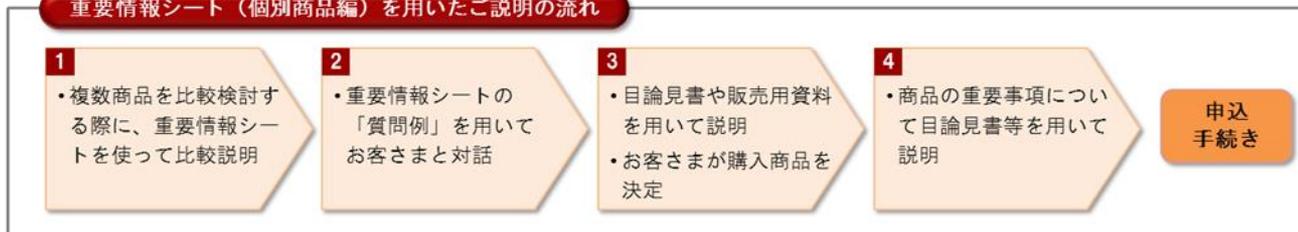
利益相反の適切な管理

- 利益相反とは、秋田銀行（秋田銀行のグループ会社を含む）とお客さまの間でお互いの利益が相反する状況をいいます。
- 秋田銀行は、同一グループ内に投資信託その他金融商品の運用会社や提供会社がないため、お客さまへの金融商品の勧誘販売に際して、同一グループ内の利益を優先するなど、お客さまの利益を不当に害するような利益相反は発生しません。

重要情報シートを活用した説明

- 秋田銀行では、お客さまからニーズに合った商品を選択いただけるよう、お客さまの投資経験・金融知識等を踏まえながら、誤解を招くことのない情報提供に努めております。
- 投資信託や生命保険など、複雑またはリスクの高い商品をご提案する場合は、「重要情報シート（個別商品編）」を活用してご説明するとともに、金融商品のリスクや手数料を商品横断的に比較してお示しすることで、お客さまにご納得いただけるよう努めております。
- 投資経験が浅い、または、投資が初めてのお客さまにつきましては、投資目的や資産運用ニーズ等を十分に把握したうえで、リスク許容度に応じた適切な商品やサービスのご提案を行っております。
- 商品の特性・リスクを踏まえ、お客さまにとってふさわしくない場合には、ご提案を控えさせていただいております。
- 「重要情報シートの使用状況」は、投資信託、生命保険をご提案するすべてのお客さまに対し、重要情報シート（金事業者編・個別商品編）を活用してリスクや手数料を分かりやすくご説明しております。

重要情報シート（個別商品編）を用いたご説明の流れ



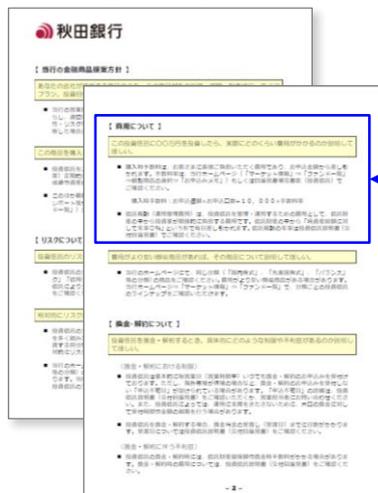
手数料についての分かりやすい説明 ～ 投資信託 ～

- 手数料については、重要情報シート（個別商品編）や目論見書等でご提案の際に分かりやすくご説明しております。重要情報シート（個別商品編）には手数料に関する質問例を記載しており、お客さまからの質問に応じてご説明しております。
- 実際の購入手数料の総額や運用管理費用（信託報酬等）の手数料率については、「投資信託ご購入提案書」を活用してお客さまが負担するコストをご説明しております。
- 非対面取引であるインターネットバンキングを利用した投資信託販売につきましては、手数料を対面販売の30%割引（積立投信を除く）に設定し、お客さまがご利用しやすい手数料体系としております。

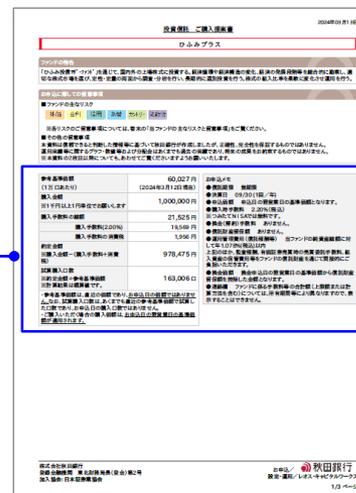
【個別商品編】



【回答例】



【投資信託 ご購入提案書】



【個別商品編に記載の質問例】

以下のような質問があれば、お問い合わせください。
 ・この投資信託に〇〇万円を投資したら、実際にどのくらい費用がかかるのか説明してほしい。

【掲載している項目】

- ・購入手数料の総額
- ・換金（解約）手数料
- ・信託財産留保額
- ・運用管理費用（信託報酬等）

手数料についての分かりやすい説明 ～ 生命保険 ～

- 手数料については、重要情報シート（個別商品編）や契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）、概要書等を用いて、当該商品でお客さまのご負担となる費用について説明しております。
- 重要情報シート（個別商品編）にはコストや費用に関する質問例を記載しており、お客さまからの質問に応じて重要情報シート（金融事業者編、個別商品編）等を活用しご説明しております。

【個別商品編】

【回答例】

【個別商品編に記載の質問例】

(質問例)

- ⑩ 私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
- ⑪ 費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

資産形成をサポートする積極的な情報発信

- お客様の資産形成に向けた取組みをサポートするため、資産形成や資産運用を学ぶことができるセミナーを開催しております。また、企業などに勤務するお客様向けに、「ためる・ふやす・そなえる・かりる」といった資産形成をテーマに「マネー講座セミナー」を開催しております。また、学生を対象とした学校への出張授業などにも取り組み、資産形成に関する知識を学ぶ機会をご提供しております。

お客様向けセミナー



学生向けセミナー



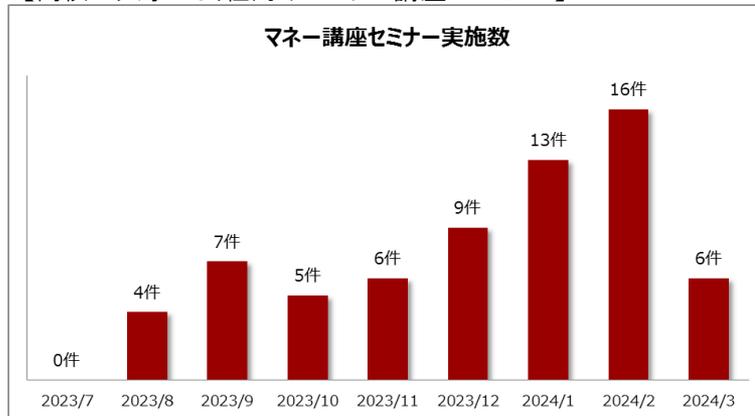
セミナー実施状況

- 2023年12月より、お客様に役立つ情報発信を目的に毎月1回、対面もしくはオンラインで金融セミナーを開催しております。

【お客様向け金融セミナー（外部講師）】

開催月	テーマ	開催方法	参加人数
2023年12月	新NISAを活用した投資について	オンライン	56人
2024年1月	新NISA活用術・投資との向き合い方	オンライン	55人
2024年2月	投資の本質について	対面	76人
2024年3月	セカンドライフのためのマネープラン	オンライン	48人

【高校・大学・会社向け マネー講座セミナー】



商品ラインナップの整備

- 商品選定にあたっては、お客さまのライフプランの実現をめざすことを目的とし、「長期・分散・積立」を軸とした安定的な資産形成・資産運用に資する商品を取り揃えております。

*秋田銀行は金融商品の組成には携わっておりません。

フォローアップ

- 秋田銀行では、「ご契約からがスタート」と考えており、お取引の内容と合わせて、日々変化していくお客さまのライフプランや運用方針を定期的に確認させていただいております。
- 投資信託や生命保険などの商品をご契約いただいているお客さまに対しては、定期的なフォローアップに加えて市場動向が大きく変動した場合等に適時適切なフォローアップを行っております。
- 投資信託をご契約いただいているお客さまに対して、「投資信託ポートフォリオ現状診断レポート」等を活用して運用状況の報告を行っております。また、ご高齢のお客さまに対しましては、管理職の行員がお客さまの健康状態・これまでの投資経験・今後の運用方針などを定期的に確認させていただいております。

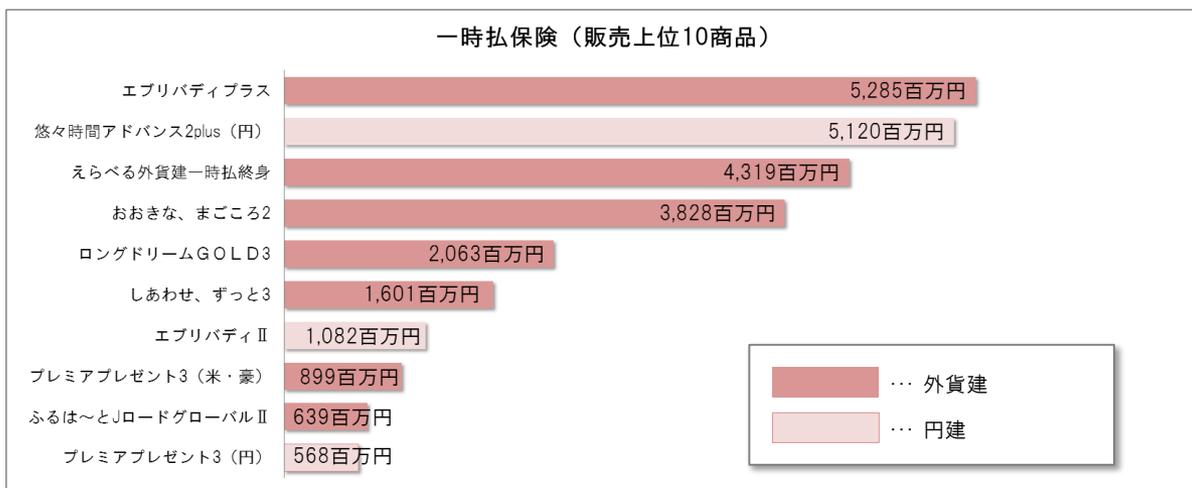
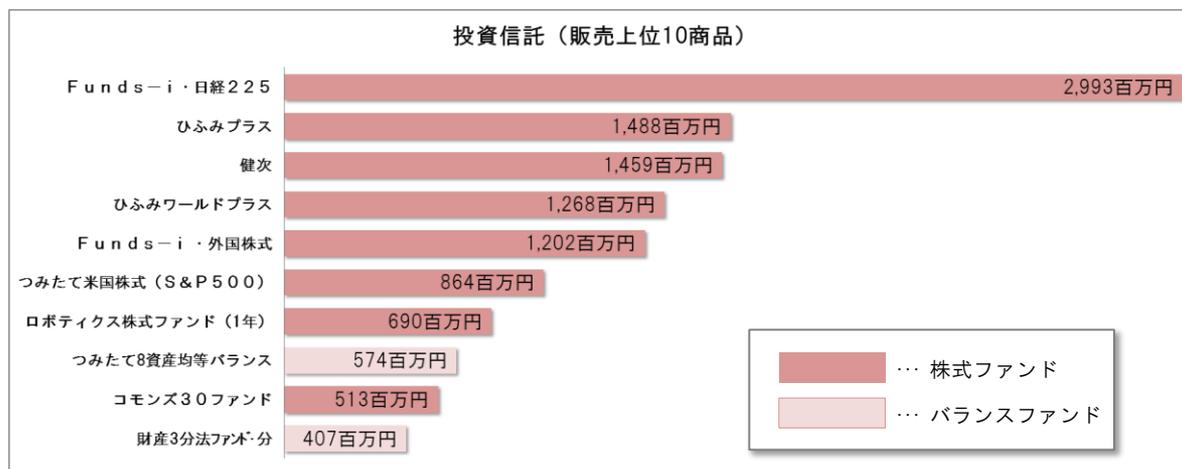


【投資信託ポートフォリオ現状診断レポート】



投資性商品の販売上位商品

- 秋田銀行では、お客さまのニーズやライフイベントに応じた資産運用提案を行っております。



投資信託預り残高上位20銘柄

- 投資信託残高上位20銘柄中、19銘柄でリターンがコストを上回っております。

2024年3月末

順位	銘柄名	コスト(%)	リスク(%)	リターン(%)
1	ひふみプラス	1.52	14.13	11.06
2	野村インデックスファンド・外国株式	0.61	17.17	19.35
3	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	2.38	21.01	22.19
4	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.05	9.28	5.94
5	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	2.86	14.82	13.85
6	インデックスファンド225	1.01	17.02	15.33
7	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	1.56	8.43	3.62
8	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.00	5.23	2.31
9	グローバル・フィンテック株式ファンド	2.37	35.86	11.09
10	グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド(1年決算型)	2.37	28.05	18.61
11	野村インデックスファンド・日経225	0.44	17.01	15.44
12	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	1.16	15.12	2.16
13	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.15	21.46	3.68
14	つみたて8資産均等バランス	0.24	10.38	8.35
15	トレンド・アロケーション・オープン	1.18	7.82	-1.80
16	コモンズ30ファンド	1.52	15.87	15.63
17	ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)	1.63	6.40	4.59
18	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.20	17.24	5.26
19	H S B C インドオープン	2.64	23.67	16.23
20	D I A M世界好配当株オープン(毎月決算コース)	1.65	15.44	12.22

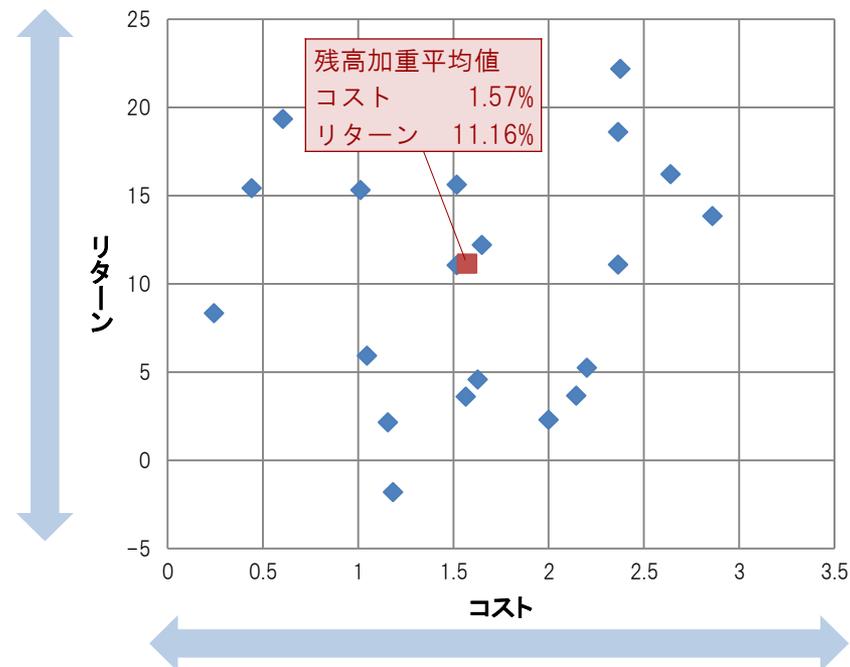
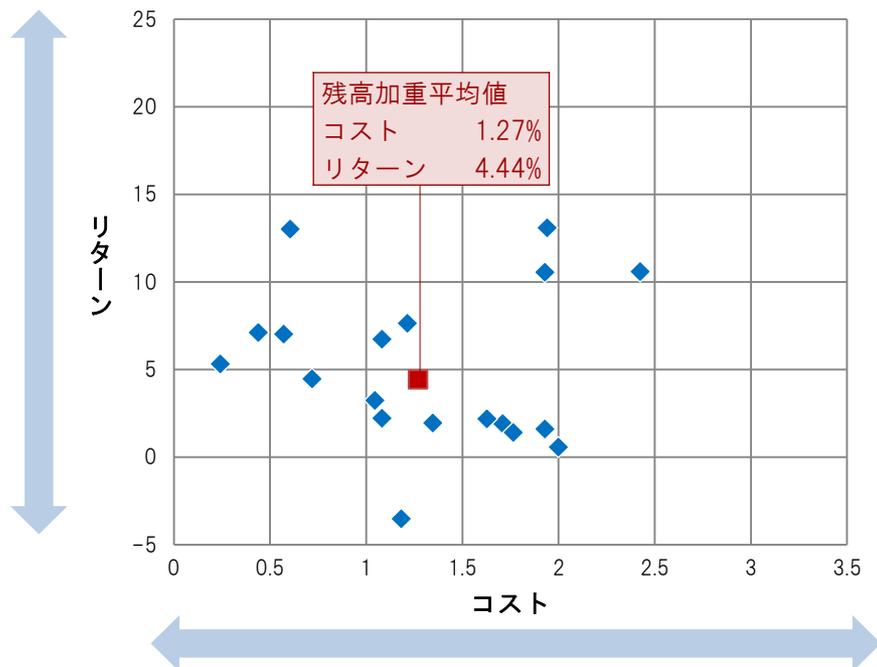
- (注) 1 上位銘柄は設定後5年以上経過している投資信託を対象(現在募集停止している銘柄を含む)
 2 コストは、過去5年間の1年あたりの販売手数料率と信託報酬率の合計値を表示
 3 リスクは、過去5年間の月次リターンの標準偏差を年率に換算して表示
 4 リターンは、過去5年間のトータルリターンを年率に換算して表示

投資信託のリターン実績 (コスト・リターン)

- コストに大きな変化はありませんが、相場が上昇した結果リターンは上昇しております。

コスト・リターン (2023年3月末)

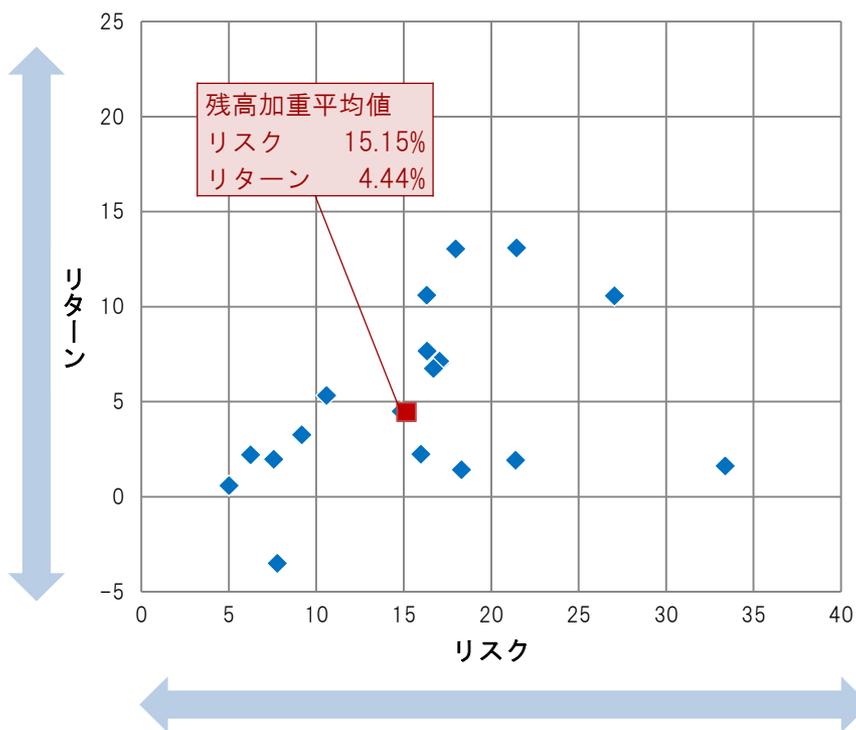
コスト・リターン (2024年3月末)



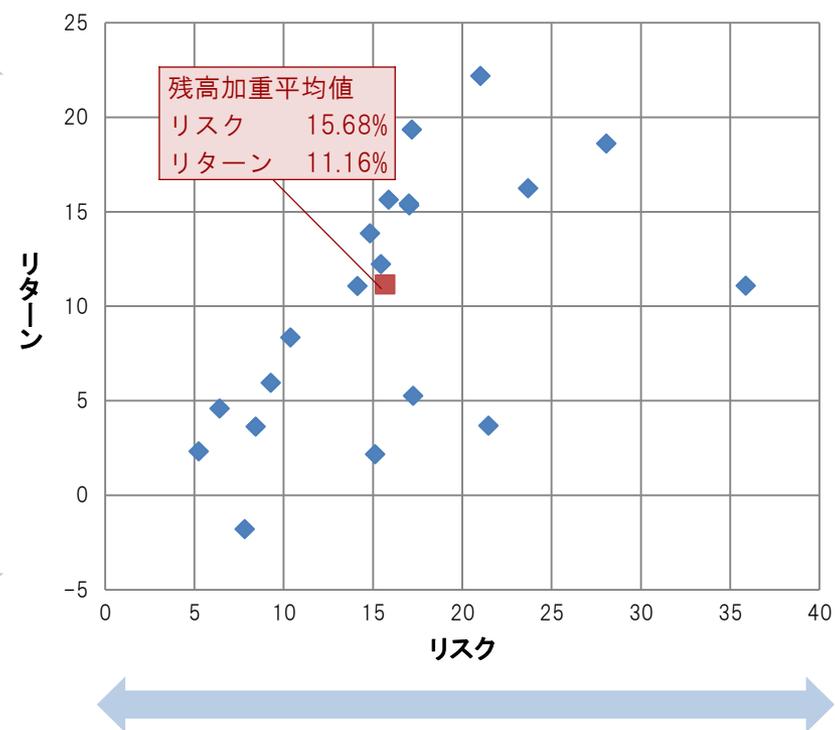
投資信託のリターン実績 (リスク・リターン)

- リスクに大きな変化はありませんが、相場が上昇した結果リターンは上昇しております。

リスク・リターン (2023年3月末)



リスク・リターン (2024年3月末)

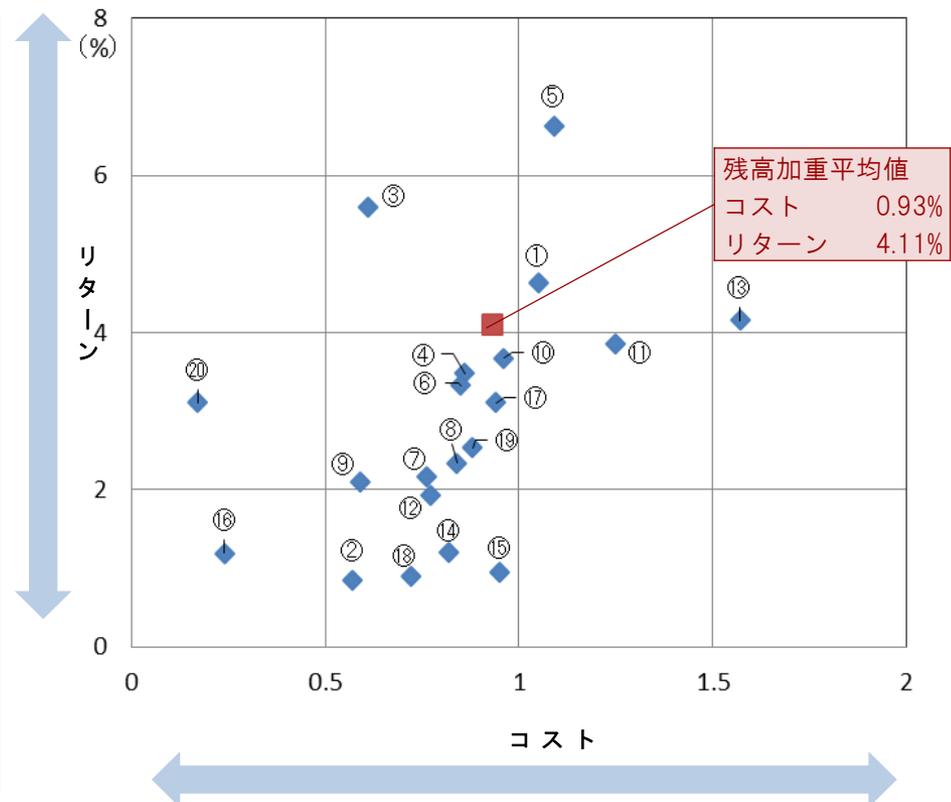


外貨建一時払保険のリターン実績 (コスト・リターン)

- 円安の進行により、残高上位20銘柄中、19銘柄でリターンがコストを上回っております。

銘柄別コスト・リターン

順位	銘柄名	コスト (%)	リターン (%)
①	外貨建エブリバディプラス	1.05	4.63
②	やさしさ、つなぐ	0.57	0.85
③	夢のプレゼント	0.61	5.59
④	プレミアプレゼント	0.86	3.48
⑤	ロングドリームGOLD 2	1.09	6.63
⑥	ふるはーとJロードグローバル	0.85	3.33
⑦	たのしみ、ずっと	0.76	2.16
⑧	しあわせ、ずっと	0.84	2.34
⑨	プレミアレシーブ (外貨建)	0.59	2.09
⑩	プレミアアカレンシー・プラス2	0.96	3.67
⑪	あしたの、よろこび	1.25	3.86
⑫	ロングドリームGOLD	0.77	1.92
⑬	豪ドル建一時払養老	1.57	4.16
⑭	プレミアジャンプ	0.82	1.20
⑮	プレミアジャンプ・終身 (外貨建)	0.95	0.95
⑯	アテナ2	0.24	1.19
⑰	プレミアジャンプ2・年金 (外貨建)	0.94	3.11
⑱	しあわせ、ずっとNZ	0.72	0.89
⑲	プレミアジャンプ・年金 (外貨建)	0.88	2.53
⑳	アテナ	0.17	3.11

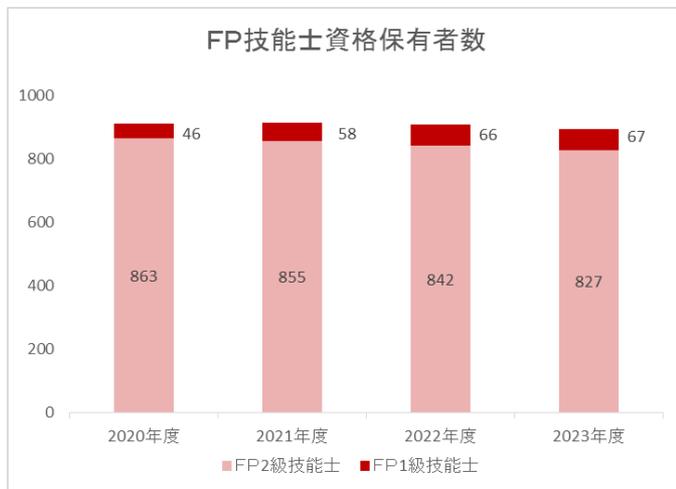


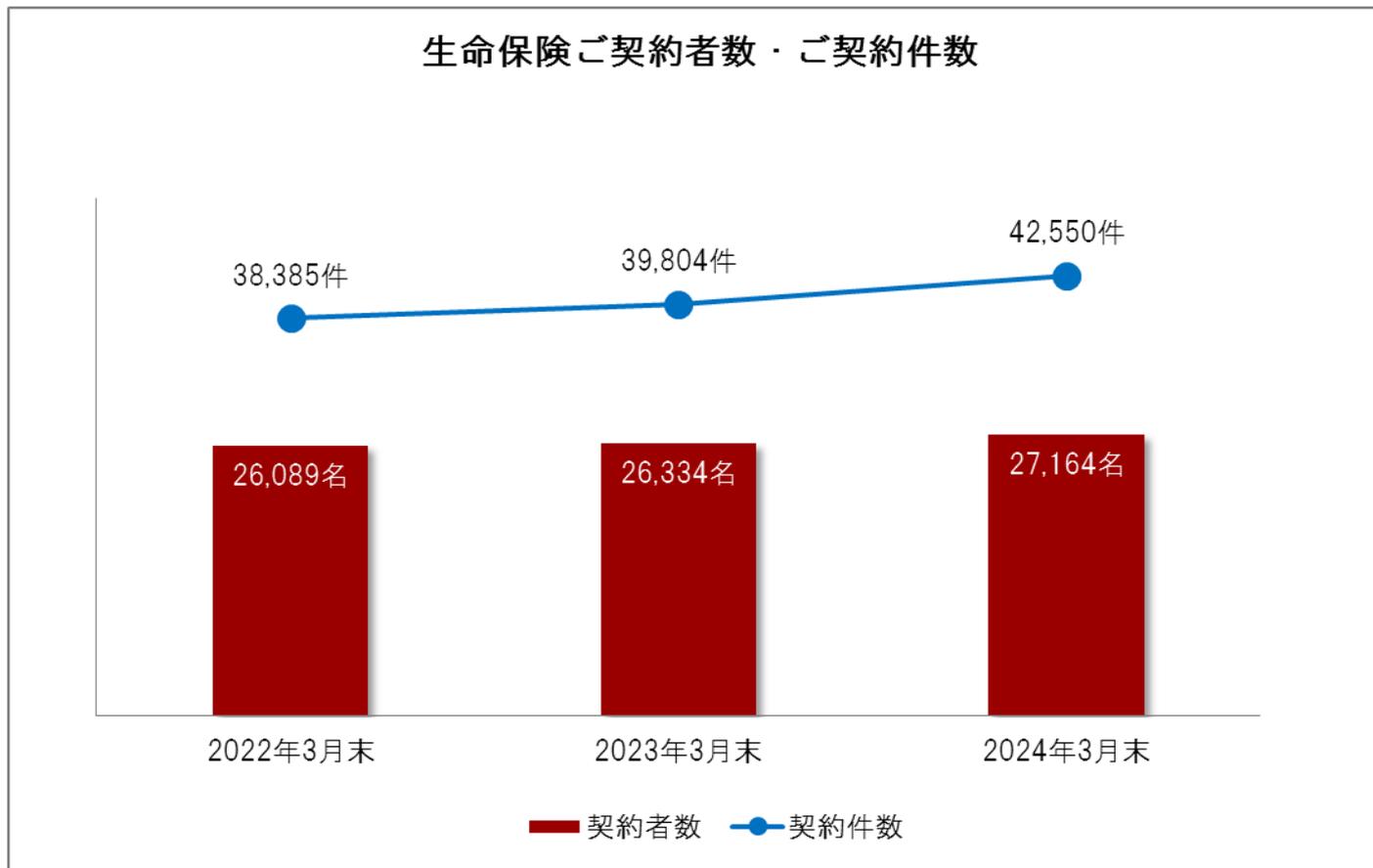
人材育成

- 秋田銀行では、お客さま本位の業務運営方針に基づく行動計画に基づく活動を行うことにより、「安定的な資産形成を支援」することが、お客さまの「最良の未来の実現に貢献」するものと考えております。
- 各研修・勉強会を通じて、お客さま本位の考え方の浸透をはかり、ライフコンサルティングを実践できる人材育成に取り組んでおります。

FP技能士1級・2級資格保有者

- 高度なスキルと専門知識を有する人材を育成する観点から、FP資格を「コンサルティングの実践に必要な要件」として位置づけ、積極的なFP資格取得を奨励しております。



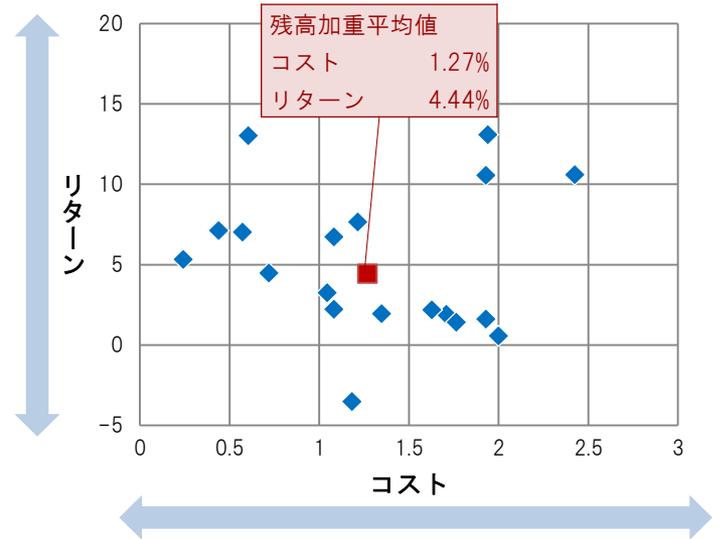


2023年3月末

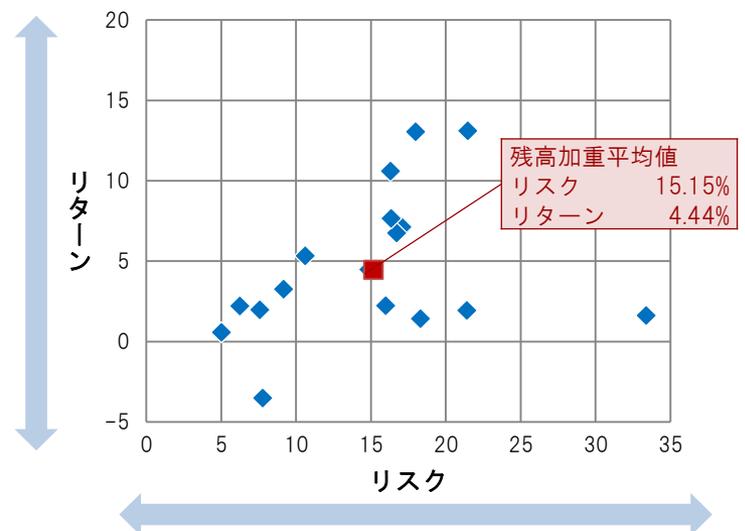
	商品名	コスト (%)	リスク (%)	リターン (%)
①	ひふみプラス	1.08	15.97	2.23
②	高金利先進国債券オープン（毎月分配型）	1.35	7.58	1.99
③	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.05	9.16	3.25
④	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.00	5.00	0.57
⑤	インデックスファンド225	0.57	17.06	7.03
⑥	グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	1.94	21.45	13.09
⑦	野村インデックスファンド・外国株式	0.61	17.97	13.03
⑧	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	0.72	14.85	4.48
⑨	トレンド・アロケーション・オープン	1.18	7.76	-3.52
⑩	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	2.42	16.30	10.59
⑪	グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（1年決算型）	1.93	27.04	10.56
⑫	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	1.71	21.39	1.92
⑬	グローバル・フィンテック株式ファンド	1.93	33.37	1.62
⑭	野村インデックスファンド・日経225	0.44	17.05	7.12
⑮	つみたて8資産均等バランス	0.24	10.59	5.32
⑯	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	1.76	18.29	1.42
⑰	ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド（毎月分配型）	1.63	6.23	2.20
⑱	コモンズ30ファンド	1.08	16.70	6.74
⑲	D I A M世界好配当株オープン（毎月決算コース）	1.21	16.33	7.65
⑳	高金利先進国債券オープン（資産成長型）	1.35	7.57	1.96

- (注) 1 上位銘柄は設定後5年以上経過している投資信託を対象（現在募集停止している銘柄を含む）
 2 コストは、過去5年間の1年あたりの販売手数料率と信託報酬率の合計値を表示
 3 リスクは、過去5年間の月次リターンの標準偏差を年率に換算して表示
 4 リターンは、過去5年間のトータルリターンを年率に換算して表示

■コスト・リターン



■リスク・リターン

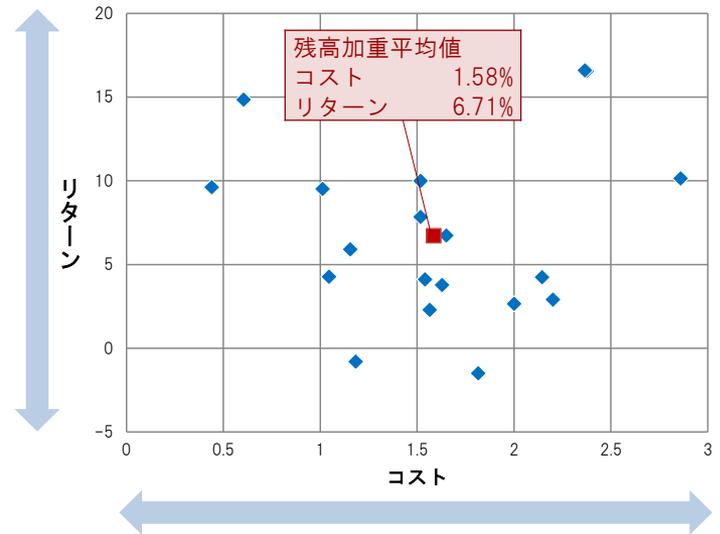


2022年3月末

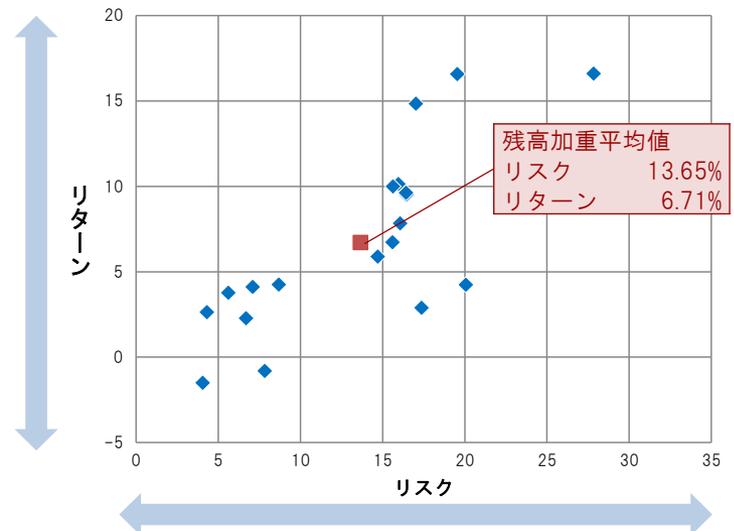
商品名	コスト (%)	リスク (%)	リターン (%)
① ひふみプラス	1.52	16.07	7.83
② 高金利先進国債券オープン（毎月分配型）	1.56	6.70	2.31
③ 財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.05	8.69	4.26
④ ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.00	4.31	2.64
⑤ MHAM J-REIT インデックスファンド（毎月決算型）	1.16	14.70	5.89
⑥ ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.15	20.07	4.24
⑦ インデックスファンド225	1.01	16.44	9.51
⑧ トレンド・アロケーション・オープン	1.18	7.83	-0.80
⑨ グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	2.38	19.54	16.57
⑩ グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	2.86	15.96	10.14
⑪ グローバル・フィンテック株式ファンド	2.37	27.84	16.60
⑫ 野村インデックスファンド・外国株式	0.61	17.02	14.84
⑬ アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	2.20	17.37	2.89
⑭ ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド（毎月分配型）	1.63	5.62	3.77
⑮ 野村インデックスファンド・日経225	0.44	16.43	9.62
⑯ 高金利先進国債券オープン（資産成長型）	1.56	6.69	2.28
⑰ DIAM世界好配当株オープン（毎月決算コース）	1.65	15.61	6.73
⑱ コモンズ30ファンド	1.52	15.64	9.99
⑲ 世界ソブリン債券・日本株ファンド（毎月分配型）	1.54	7.10	4.11
⑳ B A Mワールド・ボンド&カレンシー・ファンド（毎月決算型）	1.82	4.05	-1.50

- (注) 1 上位銘柄は設定後5年以上経過している投資信託を対象（現在募集停止している銘柄を含む）
 2 コストは、過去5年間の1年あたりの販売手数料率と信託報酬率の合計値を表示
 3 リスクは、過去5年間の月次リターンの標準偏差を年率に換算して表示
 4 リターンは、過去5年間のトータルリターンを年率に換算して表示

■コスト・リターン



■リスク・リターン

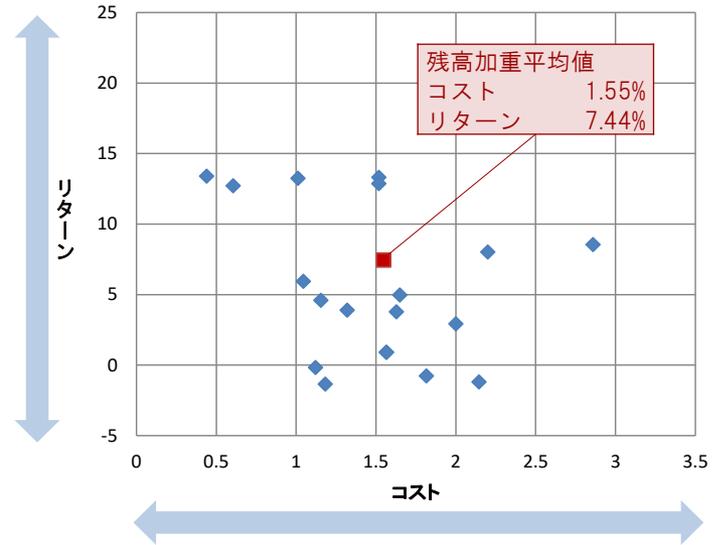


2021年3月末

商品名	コスト(%)	リスク(%)	リターン(%)
① ひふみプラス	1.52	15.38	13.32
② 高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	1.56	6.20	0.93
③ MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	1.16	13.98	4.60
④ 財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.05	8.66	5.95
⑤ インデックスファンド225	1.01	16.58	13.25
⑥ トレンド・アロケーション・オープン	1.18	7.25	-1.33
⑦ ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.15	19.38	-1.18
⑧ グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	2.38	18.82	19.22
⑨ ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.00	3.79	2.93
⑩ アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.20	17.65	8.03
⑪ ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)	1.63	5.07	3.78
⑫ グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	2.86	15.93	8.55
⑬ 高金利先進国債券オープン(資産成長型)	1.56	6.20	0.91
⑭ BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(毎月決算型)	1.82	4.13	-0.76
⑮ 野村インデックスファンド・外国株式	0.61	17.13	12.72
⑯ 東京海上・円建て投資適格債券ファンド(年2回決算型)	1.12	1.77	-0.17
⑰ DIAM世界好配当株オープン(毎月決算コース)	1.65	15.91	4.97
⑱ 野村インデックスファンド・日経225	0.44	16.57	13.41
⑲ コモンズ30ファンド	1.52	15.52	12.87
⑳ 世界ソブリン債券・日本株ファンド(毎月分配型)	1.32	7.54	3.90

- (注) 1 上位銘柄は設定後5年以上経過している投資信託を対象（現在募集停止している銘柄を含む）
 2 コストは、過去5年間の1年あたりの販売手数料率と信託報酬率の合計値を表示
 3 リスクは、過去5年間の月次リターンの標準偏差を年率に換算して表示
 4 リターンは、過去5年間のトータルリターンを年率に換算して表示

■コスト・リターン



■リスク・リターン

